

第1章 文化芸術・スポーツ振興ビジョン策定の背景・位置づけ

基本構想・文化芸術スポーツまちづくり条例制定などの背景とビジョンの位置づけ、役割等について記載

《背景》

- ・品川区基本構想・文化芸術・スポーツのまちづくり条例・新長期基本計画の存在
- ・まちづくりの新たな指標である“にぎわい”という課題が示されている現状がある。

《位置づけ（役割）》

- ・基本構想がいう「にぎわい都市」を文化スポーツ振興を通して実現するための役割
- ・文化芸術・スポーツの活動を通して区民が活発に活動し、交流し、つながっていくことで、新たなにぎわいを作り出し、そのにぎわいが持続していく原動力となるようビジョンによって具体的な振興のあり方を示す。

第2章 品川の特徴、品川の文化芸術・スポーツの現状と課題

区民意識調査・団体アンケート・グループインタビューなどの調査の結果等も踏まえ、区の現状・特徴、課題について記載

《現状》

- ・区内には、品川のまちの人々が今まで大切に作り上げ、保存し、そしてそれぞれに楽しんでいる様々な活動が活発に行われている。このように区民が行っている文化芸術・スポーツの活動は、品川区の大きな資源である。
- ・区民が、自主的・自発的に行っているこれらの活動は、さながら品川区の中にパッチワークのようにちりばめられて展開されており、地域のなかに、まちのにぎわいを作り出している。
- ・こうした活動に加え、地域団体、区、品川文化振興事業団、品川区スポーツ協会や民間企業などが提供している文化芸術・スポーツ関係事業も年間を通じて行われている。
- ・品川区には、文化芸術のイベントによって、区民がひとつに集い、大きな集客やにぎわいを作り出しているものはない。

《課題》

- ・文化やスポーツは、人間がよりよく生き、社会を発展させる重要な要素である。参加している人が楽しむだけでなく、これらの振興を通じて、地域とのつながりやまちづくりにつなげていくことができるのではないか。

第3章 文化芸術・スポーツ振興を通じた将来のまちの姿・基本理念

現状と課題を踏まえ、今後、文化芸術・スポーツ振興を通じたまちづくりに関する基本的な考え方について記載

目指すべき将来のまちの姿（イメージ）

『 (にぎわい) 』



理念：人をつなぐ

基盤になるのは人。文化芸術やスポーツが人と人をつなぎ地域の協働を推進している。

理念：まちの資源をつなぐ

活動や場などの資源をつなぐとともに、埋もれているものを掘り起こし、新たな活動へ発展させる。

理念：誇りにつなぐ

文化芸術・スポーツの振興を、品川のまちへの愛着・誇りにつなげる。

第4章 施策の目標と展開の方向性

ビジョンを実現するための施策の目標と展開の方向性について、観光・福祉・環境・教育・都市経営の観点も入れながら記載

目標1：区民一人ひとりが文化芸術・スポーツを楽しみ、つくり、支える

《方向性》

- ・利用しやすい環境づくり。いつでも・どこでも・だれでも
- ・主体性・力量の創出
- ・役割・責任
- ・子どものころから地域の行事・芸術・スポーツ等に親しむなかで人材育成を図り、町の人たちとの関係をつくる。
- ・学習成果を地域に還元する。等
(優先されるべき事柄)

目標 2：将来の文化芸術・スポーツを支える次世代を育成する

《方向性》

- ・ 一流のアーティスト・アスリートにふれ、憧れを活動に活かす

子どもたちが文化芸術・スポーツに親しみ、伝統文化を継承すると共に、まちの人たちとの関係を築く 等

(優先されるべき事柄)

目標 3：様々な資源をつなぎ、支えあい、文化芸術・スポーツを高めあう

《方向性》

- ・ 各種団体・地域・企業などの活動を支援し活かす
- ・ 歴史資産を活かす
- ・ 今あるものの再認識・組み合わせ 地域センター等の日常生活圏における資源の確認や開発を行う
- ・ 資源の掘り起こし・効果的なPR
- ・ 劇場や美術館などの文化芸術提供資源の活用 等

(優先されるべき事柄)

目標 4：良質な機会を提供する

《方向性》

- ・ 一流のアーティスト・アスリートに触れる機会から草の根の活動までさまざまな活動の機会の充実を図る。
- ・ 鑑賞機会の充実
- ・ 地域の文化芸術・スポーツを育てる環境づくり
- ・ プログラムの充実
- ・ さまざまな施設の活用を効果的に進める
- ・ 近隣で開催されるスポーツプログラムやクラブ活動を促進する 等

(優先されるべき事柄)

目標 5：伝統文化を継承発展させる

《方向性》

- ・ 地域の伝統文化の保存・活用・発展を図る。
- ・ 品川の地域文化の振興を支援
- ・ 敷居が高いと思われがちだが、だれもが触れることができるように 等

(優先されるべき事柄)

目標 6：様々な活動をつなぐ仕組みを整備して、活気ある文化芸術・スポーツをつくる

《方向性》

- ・ 活動団体や個人、企業の連携によるシナジー効果の創出
- ・ 発表会・大会・顕彰等によるつながりの促進
- ・ 情報基盤の整備
- ・ 懇話会などの交流の場の整備
- ・ 象徴的な場として、鑑賞・活動の発表の場の充実、コンテストなどによる活動のレベルアップの目標の場となる芸術祭の開催
- ・ 地域スポーツクラブの展開 スポレク推進委員会の総合型地域スポーツクラブへの展開
- ・ 主体的に協働して参加できる住民及び組織間のネットワークを創出する。
- ・ 資源と人をつなぐ 等

(優先されるべき事柄)

目標 7：まちづくりにつなげ、品川の魅力・活力を輝かせる

《方向性》

- ・ 文化芸術スポーツ施策を都市戦略としての位置づけ、観光・にぎわいなどまちの魅力・活力の向上に活かす
- ・ 福祉・環境などまちづくりを総合的に捉えた事業展開
- ・ 自由で活発な活動を元気なまちにつなげていく
- ・ 文化芸術・スポーツをまちの”公共財”として活用する
- ・ 都市である品川区の環境を踏まえ、文化芸術・スポーツ振興を通じた住み良いまちの創出 等

(優先されるべき事柄)

第 5 章 ビジョンの実現に向けて

このビジョンを実現していくために、それぞれの主体の役割等について記載

- ・ 区民・団体・区等の役割